

深川消費者協会

消費生活 だより

令和4年度 No.9

12 Dec.
2022



深川消費者協会事務局

(深川市役所 経済・地域振興部
商工労政課 商工労政係 内)

TEL 26—2264

FAX 22—8134

【12月現在 一般会員72人(11月比±0)、
賛助会員50人(11月比±0)】



秋の料理実習 (11/7)



くらしの講座 (11/17)

事業報告・計画

11. 7 月 Mon.	
秋の料理実習	16人
11. 17 木 Thu.	
くらしの講座	16人
11. 17 木 Thu.	
消費者問題懇談会	16人
11. 30 水 Wed.	
空知管内消費者協会連絡協議会 上砂川役場	
12. 3 土 Sat.	
親子牛乳料理教室	延期
12. 12 月 Mon.	
深川市労働委員会	経済センター
12. 15 木 Thu.	
役員会	デ・アイ

秋の料理実習を実施しました（11/7）

11月7日、働く婦人の家の調理室にて、協会会員対象の「秋の料理実習」を実施しました。



地場産の米、野菜を主にして、栄養のバランスを考えての献立でした。副会長の高橋さんは献立作り、下準備と会員さんの日常を考えながらのことを伝えてくれました。働く婦人の家が、お料理の美味しい香りでいっぱいになりました。

新型コロナウイルス感染症は、いまだ終息の見え難い中ではありますが、久しぶりの料理実習がこれからの協会活動の活性化にも繋がって欲しいと思いました。

料理は持ち帰って、夕食にいただきました。食後のデザートとしていただいた餡玉の鹿の子菓子、栗のやさしい甘味が口に広がって美味しかったです。 【浜淵久子】

献立

鶏ささみの中華和え

南瓜の中華風煮物

いなり寿司二種

五目、ガリ入り

じゃが芋のドーナッツ

鹿の子菓子

くらしの講座「スマホを活用・市民デジタル講座」を開催しました（11/17）

11月17日、深川市経済センターにおいて、くらしの講座「スマホを活市民用・デジタル講座」を開催し、北海道消費者協会の道高真理 総務調整部長から「スマホが世界を変えていく～未来社会のデジタル市民を目指して～誰ひとり取り残されないために」と題してお話いただきました。

デジタル化について、「ついていけない」、「怖い」などの声が多く聞かれます。しかし、この社会の流れは、止まることはないでしょう。デジタルが使えなければ「不利益を被る」社会が来ます。自分の身を自分で守るために必要なのは「情報」です。どんな準備をして、どんな機器からマスターしておけばよいのでしょうか？

日本は2004年をピークに人口が急激に減少しています。2050年までには、現在、人が住んでいる地域の約2割に人が住まなくなると予想されています。この人口減少、過疎化に対して、デジタルの力で暮らし、産業、社会を変革しようというデジタル・トランスフォーメーション（DX）が進められています。

だれでもスマホやパソコンから気象や健康、行政等の様々な情報を取得できる。ロボット、自動走行車、ドローンなどの機器をインターネットにつなげて活用することで、様々な問題が解決される社会を政府は目指しています。

テレビでもよく見る若宮正子さんは、世界で最も有名な87才のプログラマーで「人生にもう遅いはない！」とおっしゃいます。高齢者は、日々アナログ！時々デジタル！の「アナデジライフ」を楽しみましょう！例えば、LINE（ライン）で家族、友達とビデオ通話をするのは、人生100才時代を生き抜くための「つながる力！！」となります。まずは、スマホを手にとってみましょう！

焦らないこと でも、決してあきらめないこと

そしてじっくり取り組むこと 70・80 伸び盛り

若宮正子

消費者問題懇談会を開催しました（11/17）

11月17日、「くらしの講座」に引き続いて、北海道消費者協会 道高真理 総務調整部長にご出席いただき、リモートで道協会の武野伸二専務理事にもご参加いただき「消費者問題懇談会」を開催しました。

最初に武野専務から「これからの消費者協会の役割」と題してお話しをいただきました。急激な物価上昇、特殊詐欺、地球温暖化、食料問題等、消費者を取り巻く環境はますます厳しさを増すと同時に消費者協会の役割はますます大切になっています。

一方、全道では消費者協会の会員数は減少、解散する協会も増えてきている状況です。深川消費者協会においても平成31年度定期総会に先立ち臨時総会を開き、役員が1年留任した後に協会を解散することを決議しました。その後、「協会存続に向けての検討委員会」が6回開催され（報告書等無）、令和2年度総会において協会解散を撤回し、役員全員を改選、新役員5人（現6人）が就任した経緯があります。

武野専務は、これからの消費者協会は、地域の機関、団体、特に深川においては拓殖大学北海道短期大学等と連携することを提案されました。以前は、消費者センターで相談業務にあたる消費者問題のプロフェッショナルが協会の先頭に立って活躍してくれましたが、相談業務を平成30年度をもって受託終了した今、学校等の専門機関の知恵や力を借りることは、消費者協会にとって大きな助けになると思います。

さらに、消費者協会には長年に亘って学習、活動してきたベテランの会員が多数います。10月の消費生活講座、11月のくらしの講座でも高齢者の社会参加は、本人の健康のみならず、地域の福祉のために大切とお話しをいただきました。経験、知識豊富なベテラン会員が、ますます活躍できる協会でありたいと思います。

親子牛乳料理教室（12/3）を延期しました。 新年度学習交流会は、検討中です。

今年度の料理教室は、親子で参加する「深川産ライスロールケーキのクリスマス・デコレーション教室」を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み延期しました。開催時期は未定ですが、改めて案内します。

新年学習交流会は、検討中です。1月号で改めてお知らせします。